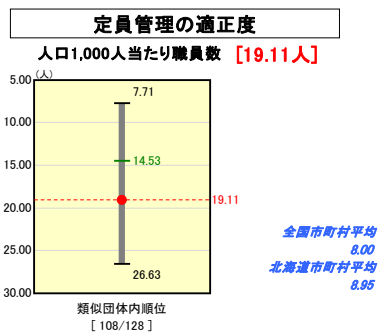
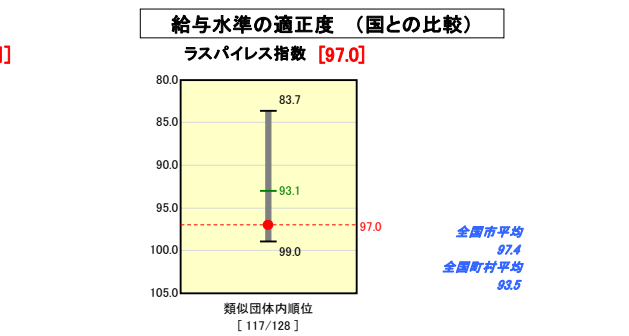
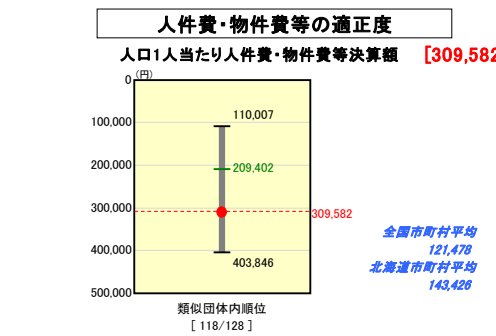
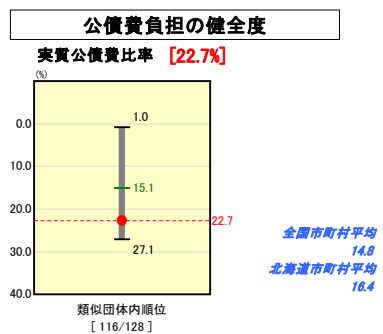
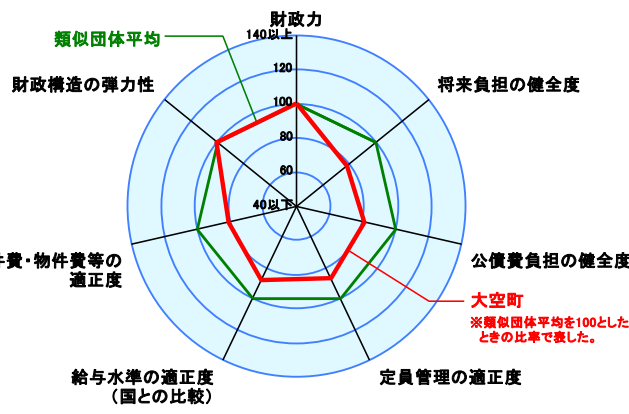
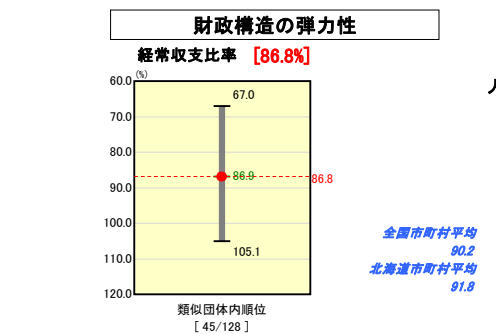
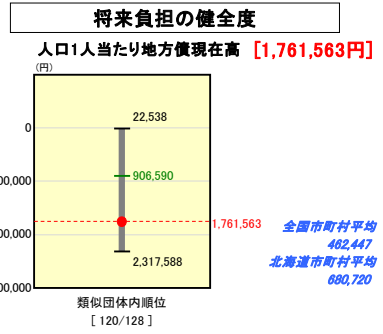
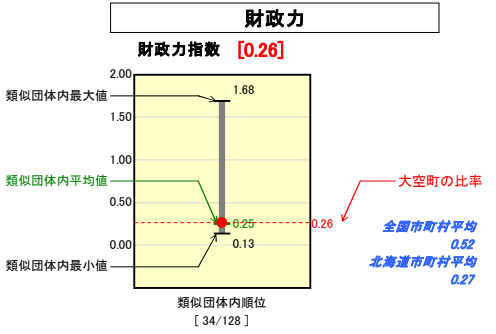


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

北海道 大空町

人口	8,636	人(H18.3.31現在)
面積	343.62	km ²
歳入総額	8,311,933	千円
歳出総額	8,061,577	千円
実質収支	250,356	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数： 女満別空港関連施設の固定資産税等により類似団体平均を上回る税金があるため、0.26となっている。今後とも滞納額の圧縮など更なる徴収業務の強化に取り組む。

経常収支比率： 職員新規採用抑制や経常経費の削減により類似団体平均をかわり下回っているが、今後も扶助費及び公債費の増加が見込まれることから、人件費の抑制や公債費の発行抑制、事務事業の見直しによる優先度の点検や行政改革の推進により経常経費の削減に努める。

ラスパイレズ指数： 類似団体平均を上回っている。今後合併効果を発揮し、財政健全化を進めるためにも人件費の縮減が必要であることから、より一層の抑制に努める。

実質公債費比率： 過去の景気対策等による建設事業に係る起債の償還に伴い上昇し、類似団体を上回っている。今後は、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により起債発行額を抑制し、併せて、世代間の負担の公平化と公債費負担の平準化の観点から、繰上償還や借換えを行うことにより償還額の平準化及び実質公債費の抑制に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等： 人件費・物件費等が類似団体平均を上回っており、人件費については合併前の数値であるため、今後は合併による事務の効率化から職員数の減少が見込まれる。物件費については施設の維持管理を直営で行っていることも要因となっており、今後は指定管理者制度等の活用により外部委託を進めるなど、経費削減を図る。

人口1人当たり地方債現在高： 類似団体平均、全国市町村平均共に大きく上回っている。過去に景気対策により発行した起債の償還が主な要因となっているが、今後は大空町総合計画のもと、適量・適切な事業実施により新規発行債の抑制をはかり、財政健全化に努める。

人口1人当たり職員数： 合併を行ったばかりであり、現状は類似団体平均を上回っているが、今後は、合併による効果を踏まえて職員数の適正化を図り、さらに事務の効率化等により職員削減に努める。